



学校の働き方改革「まず校長のなすべきこと」

校長 渋谷 正宏

教育職員は、地方公務員ですが、その勤務の特殊性から一般の公務員と給料が違ってきます。「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」（略して給特法）という法律により、教育職員には、給料月額4%が教職調整額として全員に支給されています。ただし、時間外勤務手当（いわゆる残業手当）及び休日勤務手当は支給されないことになっています。この法律が、「定額働かせ放題」などと言われ、教員の長時間労働が改善されない要因の一つとしてマスコミ等から指摘されています。

この給特法の施行に伴い、教育職員に正規の勤務時間を超えて勤務させる場合の基準を定める政令が出されています。原則として時間外勤務を命じないとされ、臨時又は緊急のやむを得ない場合として時間外勤務を命じることができるのは、以下の4項目（超勤4項目）があげられています。

- イ 校外実習その生徒の実習に関する業務（主に実技系高校の実習）
- ロ 修学旅行その他学校の行事に関する業務（宿泊行事）
- ハ 職員会議に関する業務
- ニ 非常災害の場合、児童又は生徒の指導に関し緊急の措置を必要とする場合その他のやむを得ない場合に必要業務（大規模災害等の発生時の対応）

校長として、所属職員に時間外勤務を職務と命じることができるのは、この超勤4項目に限られます。しかし、これ以外の業務で勤務時間終了後まで多くの教員が働いているのが現実です。それらは、教員の「自発的な勤務」とみなされ、その分の手当は教職調整額で支払い済みということになっています。

「学校の働き方改革」を校長として進める際に心掛けることは、極力、この教員の「自発的な勤務」を精査し、これに頼らざるを得ない学校運営を改善することだと考えます。

「自発的な勤務」の代表が「部活動指導」です。休憩時間や勤務時間外に行われる部活動指導を、校長は職務として命じることができません。ここに、制度的に大きな問題があり、全国的に部活動改革が進められています。

本校の場合、教育職員の勤務時間は、8時15分から16時45分（うち15時45分から16時30分は休憩時間）となっています。勤務時間に合わせて、登校時間は8時15分、最終下校を15時45分としています。生徒の委員会活動や運動会の放課後練習を行う場合は、必要に応じて授業カットをしたり、朝読書なしで昼清掃・昼学活にしたりして、時間を確保し、15時45分の最終下校を超える設定をしないようにしています。また、職員会議をはじめとした各種会議も、終了時刻が15時45分を超えないように原則設定しています。三者面談も、15時45分まで組むことを原則としています。15時45分以降に実施している放課後学習教室は、学校支援本部「JOINT」の全面的な御協力を得て、教職員が関わらなくてよい仕組みとしました。勤務時間外の業務設定を計画しないようにすることは、所属職員を管理監督する校長の最低限の職務だと考えています。

「学校の働き方改革」はICT等の導入による効率化や各種支援員の配置など、様々な手立てが講じられていますが、現実はまだ改善できていません。「学校の働き方改革」は、保護者や地域の皆様の御理解と御協力なしでは成しえません。よろしくお願いいたします。

2年生・校外学習「都内巡り」

令和4年12月6日

12月6日（火）に2年生の校外学習を実施しました。

「東京の歴史について知る」「東京の建築物の技術を知る」など、各班テーマを設定し浅草を中心に東京の都内を見て回りました。

中学校生活始まって初めての校外での一日班活動に備え、各班で綿密に事前の活動計画を立てて当日を迎えました。当日は、班活動を通して「班の仲間と協力しながらみんなの気持ちを考えて行動する」、「公共の場所や電車の中ではルールやマナーを守る」をしっかりと意識して行動していました。

また、見学地で展示物や建物を食い入るように見ている生徒

や班の仲間と楽しそうに会話をしながら見学地を回る生徒の姿を見ることができました。

中にはアクシデントが起きてしまう班もありましたが、班員と協力して対処している生徒たちの姿に校外学習でたくさん

の学びを得ることができていると感じることもできました。2年生は2月にスキー教室もあり、3年生になれば修学旅行が待っています。

今回の校外学習はそれらを見据えた、事前練習でもあります。2年生が更に学校生活や様々な行事を通して、集団の力を高めていくことを期待しています。



杉並区中学校対抗駅伝大会 2022

令和4年12月11日

好天に恵まれた中、杉並区中学校対抗駅伝に参加しました。男子チーム8位（入賞）、女子チーム16位と選手全員が全力を尽くして走り切ってくれました。

約1か月前から厳しい練習を重ね、多くの選手が互いを高め合いながらタイムを向上させ、校内選考会では走順と補欠のメンバーを決定しましたが、実際に走る選手も補欠の選手も互いを支え合いながら取り組む姿が印象的でした。走った生徒も応援した生徒も、全力で取り組むその姿は見ている者を感動させ、本人たちにも素晴らしい経験となったと思います。

御協力いただいたすべての方々に、心より感謝申し上げます。



全校朝礼での壮行会



グリーンのユニフォーム



最後のミーティング

令和4年8月12日から約10日間の日程で、杉並区の留学生としてオーストラリア連邦ウィロビー市に派遣された2名が、区の成果報告会で発表した内容を校内でも発表しました。

真剣に発表を聴く生徒の中から来年度の派遣生徒が出てくることでしょう。例年、次年度の派遣生徒募集は3月に始まります。

「Don't be afraid! 会話は楽しまなくちゃ」

私の研究テーマは「日本とオーストラリアのコミュニケーションの違い」である。このテーマにした理由は、自分の周りの何気なく冷たいご近所付き合いを変えたかったからだ。

事前調査では、日本人の老若男女八十五人にアンケートを行った。「人との会話は楽しい」と肯定的な意見が多く占めたが、「相手を気遣うことが難しい」というマイナスな意見も多くあった。この結果から、日本人は「相手を優先すること」を意識しすぎて会話が楽しめていないと考えた。対して、オーストラリアでは迷いなく「楽しい」と回答する人が九割を占めた。このように、オーストラリアの人々はコミュニケーションを「楽しいもの」と認識しているからこそ、人同士の関わりが日本に比べて活発なのではないだろうか。だから、日本人の皆さんも人々との関わりを恐れなくてほしい。相手を気遣うばかりで会話をしていたら、自分も相手もコミュニケーションを楽しめない。逆を言えば、そこで楽しむことが出来れば、皆さん自身の日常もより楽しくなるでしょう！

2年A組 代表生徒



「オーストラリアの多文化社会・異文化理解の実現」

今回、私はオーストラリアへ派遣生として行きました。私は日本のアイヌ人や琉球王国の人々が差別されていたことを知り、この状況を考え、それぞれの文化を尊重できないかと考えていました。そこで多文化社会の成り立っているオーストラリアで調査を行い、日本の社会に生かすことができないかと考え思い応募しました。現地では、アンケートを行いました。そして、それらを日本でのアンケートと比べ、それぞれの考え方を調べました。その結果、日本での問題点は少数民族の暮らしが尊重されていないこと、オーストラリアでは他民族の理解があり、少数民族文化がより認知されていることをはっきりと確かめることができました。

そして、現地でコミュニケーションをとることについて深く学びました。オーストラリアでは、毎日、多くの人と話しますが、とても難しかったです。しかし、オーストラリアの人々は、初対面であろうと気軽に話しかけることができ、とても親切な人が多かったです。そこから、相手を否定しないで、自分も心を開いてコミュニケーションすることの大切さを学びました。

今回の事業で学んだことを活かし、これからも活躍したいと思います。

2年A組 代表生徒

1月の行事予定

月	日	曜日	行	事	
1 月	1	日	元日		
	2	月			
	3	火			
	4	水			
	5	木			
	6	金	冬季休業日終		
	7	土			
	8	日			
	9	月	成人の日		
	10	火	始業式（正装・給食あり）		
	11	水			
	12	木			
	13	金	安全指導		
	14	土	席書会	スキー移動教室保護者会（2年・2校時）	B時程
	15	日			
	16	月	学年朝礼（2年）		
	17	火			
	18	水	小学生部活動体験始		
	19	木	常任委員会	移動教室前健診（2年）	
	20	金	小学生部活動体験終		
	21	土		（ウインターコンサート）	【第3回英語検定】
	22	日		（ゴールボール大会）	
	23	月	学年朝礼（3年）		
	24	火	避難訓練		
	25	水			
	26	木			
	27	金	評議会	昼学活・昼清掃	B時程
	28	土		【第3回漢字検定】	
	29	日		（富士見丘防災訓練 10:00~11:30）	
	30	月	生徒朝礼		
	31	火			※【 】は学校支援本部 JOINT の関連事業です。

甲骨文字での「戦」

「単」は「盾」を表し、防御を意味します。戈は「先端に刃のついた矛」で、攻撃を意味します。盾と矛で「たたかう」を意味する「戦」という漢字になりました。



※「𠄎」は「戰」の旧字です。

日本漢字能力検定協会によって毎年発表されている、一年を振り返り世相を表す今年の漢字2022に「戦」が選ばれました。ウクライナ侵攻、北朝鮮の相次ぐミサイル発射、安倍元首相銃撃事件。円安・物価高・電力不足や感染症などの生活の中で起きている戦い。サッカーW杯や北京冬季五輪での熱戦、野球界での記録への挑戦が、この漢字を選んだ応募者の主な理由だそうです。

来年の漢字2023は明るさを感じさせる漢字になりますように。

どうぞ、よいお年をお迎えください。